

みんなとともに

宮城県重症心身
障害児(者)を守る会

第101号

令和4年1月

守る会の三原則

- 一 決して争ってはいけない 争いの中に弱いものの生きる場はない
- 一 親個人がいかなる主義主張があっても重症児運動に参加する者は党派を超えらるること
- 一 最も弱いものをひとりももれなく守る

令和四年 新年挨拶 「昨日の夢を今日の希望に、 そして明日の実現に向かって」



宮城県重症心身障害児(者)を守る会

会長 秋 元 俊 通

新年おめでとうございます。昨年はコロナで始まり、コロナで暮れた一年でしたが、十月から年末にかけて嘘のように感染が減少しました。その減少した安心感と感染拡大第六波が来るのではないかとという不安感がないまぜに込み上げております。

このコロナ禍の中で、その感染拡大防止や医療体制の整備拡大に尽力されておられる厚生労働省をはじめとした行政各省庁、地方自治体に感謝申し上げると同時に、自分たちだけのためだけでなく、それが社会貢献でもあることを意識して、私たちも感染拡大を防止してまいりましょう。今年に入って、オミクロン株も含めて

害児および者に感染させるかもしれないコロナウイルスを軽視することなく、三密を避けてなおかつマスクを着用しましょう。

二〇二一年度は、「総合支援法」の三年目の見直しの年度です。サービスの新設としては、「居宅訪問型児童発達支援」があります。これは重症心身障害等の重度の障害により外出が著しく困難な場合や感染症にかかりやすく重篤化する恐れのある場合などを理由に外出が困難な障害児を対象にしたサービスです。「共生型サービス」も新設されました。これは、介護保険サービスの指定を受けた事業所であれば、基本的に障害福祉の指定を受けられるように基準の特例

の感染が拡大しておりますが、これが第六波になりそうです。軽症で済むといわれるオミクロン株ですが、体質によっては重篤化する場合もあるようですし、後遺症が残ることもありそうですので、重症心身障害児および者を抱える私たち守る会々員は、重症心身障害児を設けたもので、これによって、障害福祉サービスの利用者は六十五歳で介護保険に移行しますが、同一事業所内で両サービスの指定を受けることができ、環境を変えずにサービスを受け続けることが可能になりました。

昨年の当会の活動は、細々と新会員家庭訪問程度の活動しか行えておりませんが、朗報といえましては、会報一〇〇号の発行でした。先人の苦勞が偲ばれ、やはり「継続は力なり」、「焦らず、弛まず」という格言が思い起こされます。東日本大震災でも悲しい出来事はございましたが、何とか乗り越えてこられました。このコロナ禍も各自の努力によって、乗り越えられるものと信じております。

このような環境下だからこそ、皆様と手を携えて、不安や困難を共有して、励まし合っているようではありませんか。事務局も毎週火曜日と木曜日の二回午前十時から午後四時まで開いており、会員同士が何でも話し合っていて、励まし合える、家庭的な守る会にしたいと思っておりますので、どうぞ皆様のご都合の良い時間にご訪問なさっていただきたいと思います。

今こそ、「昨日の夢を、今日の希望に、そして明日の実現に向かって」を実践しましょう。

仙台分会・県南分会

合同いも煮会

交流いも煮会に参加して

仙台分会 片山 隆子

仙台市守る会と県南分会との交流いも煮会が、十一月十九日に秋保温泉ホテルクレセントで行われました。

いつもなら子供と一緒に秋保スポーツ公園で行っていたいも煮会でしたが、コロナで子供との面会もままならず、我慢の日々を送っていた私たちは、ウイルス感染減少傾向により二年ぶりでやっと行う事が出来た行事でした。

懇談では、各施設での感染対策への取組や、対面での面会やリモートでの面会等、子供の様子を報告し合い、早く普通に子供との面会が出来るようになる事を願いながら交流を深める事ができました。

ホテル側も密にならないよう配慮して、食事をする部屋と懇談する部屋を準備して下さり、入浴のフェイスタオル、バスタオルの準備もあり、食事も昼ランチとは思えない程豪華なものでいたれりつくせりでした。

短時間ではありましたが、とても有意義な交流会となりました。

「いも煮会に参加して」

県南分会 加藤 美智子

コロナが落ちついてきた十一月十九日、秋保温泉ホテルクレセントで仙台分会と県南分会合同のいも煮会がありました。

会場は久しぶりで会った参加者の歓声でとてもにぎやかでした。自己紹介と近況報告後各施設でのコロナ感染拡大予防対策について情報交換しました。私の娘が入院している病院でも面会禁止が続いてますが、二月よりオンライン形式で月二回予約で十分間の面会が開始されました。実施に際し後期高齢者である私は即スマホを購入、不慣れた操作に挑戦、初めて娘とのテレビ電話での面会は感無量でした。娘の満面の笑顔から不安も解消、以後オンライン面会を楽しんでいます。

厳しいコロナ禍、子どもたちが安全で安心して過せるよう万全の対策で守っていただけてます、病院スタッフの皆さんのご苦勞に感謝の気持ちでいっぱいですね。

親も子どもも高齢になり、それに伴っての諸問題が山積している実状について話し合いができてとてもよかったです。

本日の集いで更なる親睦と理解を深め身も心もリフレッシュ、ほっこり笑顔の皆さんから元気をもらったいい一日ありがとうございました。

コロナが早くおさまりますよう心から願っております。



お久しぶりです。マスクをとってハイ!チーズ

当会ホームページ再始動間近!! 乞うご期待

コロナ禍での生活の様子

コロナ禍での過ごし方と在宅部の活動

在宅部会 相澤 浩 美

コロナ禍になり、在宅では沢山の人やサービスに支えられていた事に気付かされました。

我が家では、訪問入浴とショートステイを止め、学校と放課後等デイサービスを利用する選択にしました。沢山の人がいろいろな我慢を強いられ、今まで当たり前にごせていた日常生活に感謝を覚えました。

なので在宅部としては、会員の皆さんと「繋がりたい」と思っています。まず手始めに、在宅部委員がLINEグループで繋がり、情報を共有したり、ZOOMで会議をしたりしています。

在宅部委員は、宮城県のような地域に在籍し、仕事をしている人もいますので、これらのツールはとても有効だと思いました。

これからは、在宅会員さんの為に「実態調査アンケート」をしたり、小規模の「茶話会」を開催していきたいと考えています。

在宅会員さんが意見を言いやすい仕組みを作っていかれたらと思います。

ふれあつて

仙台エコー医療療育センター

菊地 千賀子

コロナ感染症の為に日常が変わってしまつてから二年、未だ落ち着かない日々が続いています。エコーに入所している息子との関わりも大きく変わりました。

その不安な状況の中で、弱い状態の人と直接関わるスタッフは、想像も出来ないほど心身をすり減らしながらお仕事をされていた事と思います。

それでも感染予防対策と約束事を条件に、二週間に一回四十五分間の面会が許されました。私の顔を見ると「おんも」「ちゅばちゅば」と、外出とコーヒーをねだってきますが、毎回「今度ね」と答えながら変わらぬ我が子の姿に感謝の思いでいっぱいになります。息子の細い足と手を摩りながら、静かでゆつたりした二人きりの時間を過ごしてきます。ピンク色になっていく足を見て「悪いことばかりではないな」と思いますがふれあっています。そして、十二月六日からは外出、外泊も予約制で再開となりました。

抱っこしなくなつて二年。不安な抱っこは出来なくても「母としてできる事をする」だけだと思っています。

「還暦を迎えての卒業」

仙台エコー医療療育センター

佐藤 ますみ

令和三年早春の候、卒業を迎える三月、コロナウイルス感染で大変のなかで娘裕美は、三月十二日光明支援学校高等部を皆様のおかげで卒業することが出来ました。当日は、園内で紅白の幕を張った式場で田野崎校長先生、天江園長先生方に迎えられての式典。担任今野まどか先生の司会で進められました。

「二人のみの卒業式」。校長先生から卒業証書授与され、おめでとう裕美さん、母と子で手を合せて頂き感謝するばかりでした。また、不思議な縁があつて、田野崎校長先生と娘が生年月日がピッタリと同じ、びっくりさせられたことも。今春退職されることもお聞きし、どうぞお身体をお大事にと挨拶をいたしました。

担任の先生、娘ともゆつくりと話す時間もなく、私はひとり、帰途タクシー内で卒業証書、記念品など広げて裕美おめでとうねと涙した母でした。

各施設の面会状況

R3.12月1日 現在

病 院 名	面 会 状 況		外 出 ・ 外 泊	そ の 他
	対 面	リモート		
宮 城 病 院	R3.11月29日～ 2週間に1回(15分) 場所：自室 ＜事前申し込みの事＞	2週間に1回(15分) 14:00～15:00迄 (火・水・金)	許可無	1回の面会につき2人 (小学生以下は不可) 2回接種済証の提示
西 多 賀 病 院	R3.11月8日～ 1週間に1度 (1時間以内) 場所：病棟のホール 要予約 R4.1.13より面会中止	1週間に1度(30分) 場所：打ち合せ室 要予約 事情により家から也可	外出・外泊 → 自宅のみ コロナワクチン2回接種後、 2週間経過（家族全員が） この条件は面会も同じです 家への訪問者も上記に同じ R4.1.13より外出・外泊中止	外出・外泊した入所者 はPCR検査を実施 (15:00まで帰院)
エコー 医療療育センター	2週間に1回 (45分間) 場所：会議室のみ 予約制 R4.1.19より面会中止	① 自宅からウェブ面会 ② エコー内でウェブ面会	R3.12月6日～開始 1週間前までセンターに申込み 家族以外接触しない 自宅から外出禁止 R4.1月11日より外泊禁止	1回の面会につき2人 飲食無 園庭散歩無

コロナ禍における
年末年始の外泊について

仙台北多賀病院 谷 口 悦 子

一昨年年末は外泊禁止でしたが、昨年の年末仙
台北多賀病院では「外泊は自宅のみ・家族全員がワ
クチンを二回投与し二週間が過ぎている事」など
一定の条件を満たせば外泊できることになりました
た。毎年外泊している娘をどうするか正直迷いま
した。

家族はみな二回のワクチンは済み条件的にはほ
ぼ満たしているものの、ひとつ一月四日以降の帰
院が難しかったことと、家族の一名が年末に入っ
て東京・札幌・福島とたて続けに泊りの出張があり、
感染していても症状がなくわからないでいて、外
泊した娘から入院中の子供たちにうつたらと考
えてしまった。職員の皆さんが今まで一生懸命
守っていただいたのにと、とり越し苦労ばかりが
先に来た。万が一娘が他の人からうつされたとし
ても、決してうつす方になってはいけない。何回
も自問自答し悩み・迷いましたが、娘には可哀そう
と思いました。外泊願いは出ませんでした。

二泊三日の外泊で

仙台北多賀病院
阿 部 絢 子

十一月に拓野からハガキがきました。「お母さん
いえ あそびにいきたいです。おしやうがつ お
しやうがつ たくや」気持ちの入った単語入力です。

入所前母と取り組み出来ずにいた単語入力、O T
の先生が麻痺している体に合せたスイッチを考案
しご指導いただいているおかげです。

十二月に入り園から外出、外泊の再開メールが
入り私は拓野の頑張りに答えたいと外泊を申し込
みました。拓野の姉がきて「会いたかった、会えて
うれしい」と何度も語り合ったり、近くにいる姉は
朝出勤前と夜休む前の全面介助を二日間頑張っ
てくれました。孫達は、ガラスごしに「拓さん誕生日
おめでとう」と大声を出し、何とも不思議で愉快な
四十八才の誕生日でした。

子供達の助けを借り何とか二泊三日の外泊を終
え私達皆の心は満されました。そして拓野の成長
した姿を見ながら、職員の皆様が本当に大変なお
仕事を頑張って下さっている事に、とても有難く
感謝の思いでいっぱいになりました。

◆ ◆ ◆ あ と が き ◆ ◆ ◆

会報101号をお届けします。

寒波・コロナ禍で皆さんはどのような新年をお
迎えたのでしょうか。今年こそ子供達の外出も
私達の活動も自由に出来るよう願うばかりです。

編集と発行

宮城県重症心身障害児(者)を守る会
発行責任者 秋 元 俊 通事務局 仙北市青葉区五橋二丁目四一
エクセルジオ五橋7FTEL/FAX(〇二二)二六一一一〇五〇
E-mail: mamorukai-myg@triton.ocn.ne.jp